

Market Report

2024年6月号



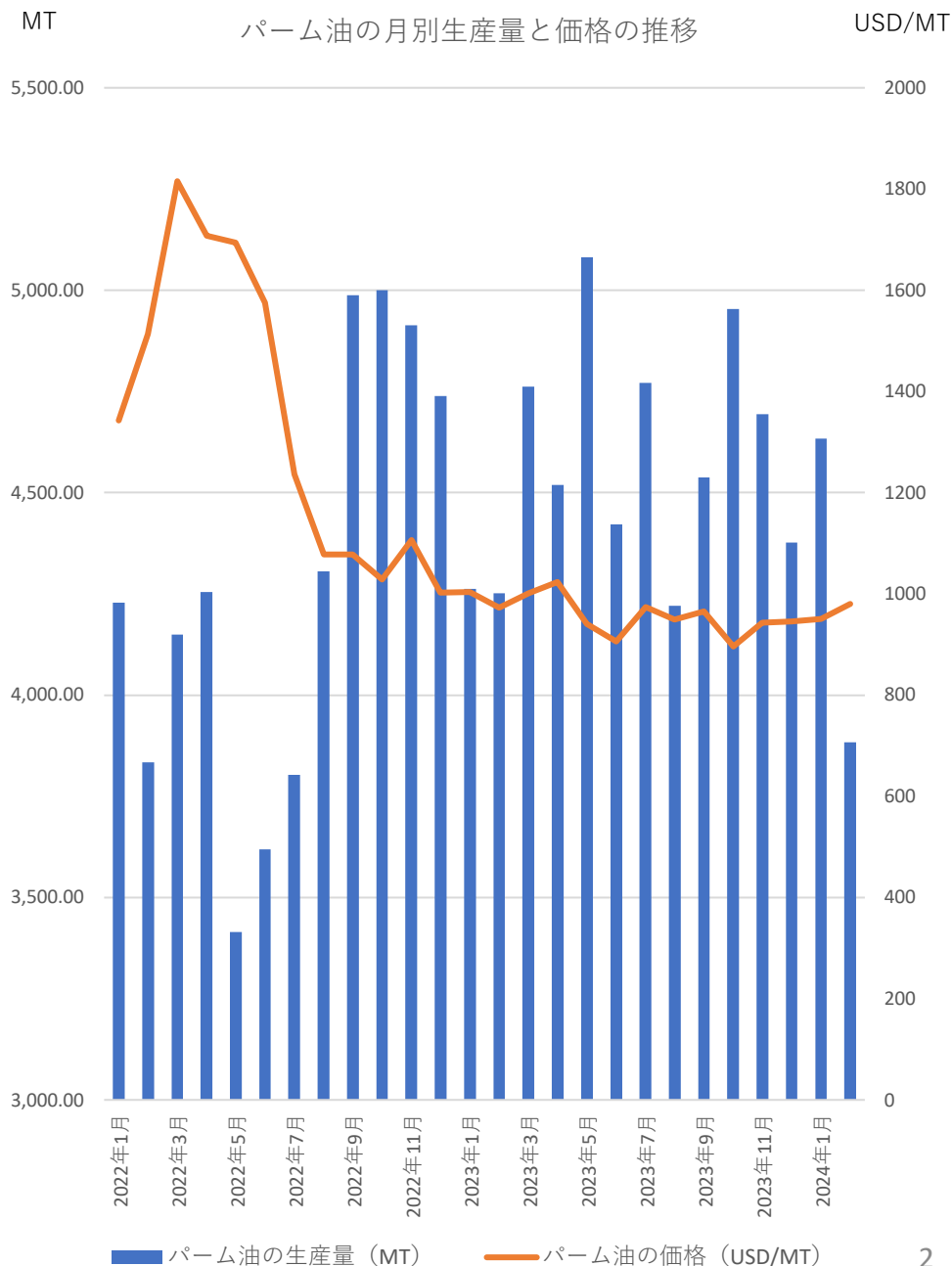
インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

1. 実績

2024年5月のFFB価格は、様々な州で価格変動があった。FFBの最高価格は2,845.97Rp/kgの西スマトラ州で、最低価格は2,294.08Rp/kgの西パプア州であった。CPOの平均価格は2024年4月の12,576.53 Rp/kgと比較して2024年5月は12,207.78 Rp/kgと368.76 Rp/kg低下した。また、2023年5月のCPO平均価格10,373 Rp/kgと比較すると1,834.78. Rp/kg上昇した。

2. 見通し

7月に乾季のピークを迎え、FFBとCPOの生産量が増加すると推定される。現在は、CPO価格が下落しているが、これはイー・アルアドハのシーズンになり、休暇前に農家や企業が大量に収穫を行ったため、FFBとCPOの生産量が増加したためであると考えられる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年4月のインドネシアのPKS輸出量は272,878.398トンで、303,968.256トンと記録された2月の輸出量と比較すると31,089.858トン、約10.23%減少した。

また、2024年4月のPKS輸出額はUSD 33,979,557を記録した。

また、2023年4月のPKS輸出量394,212.607トンと比較すると2024年4月の輸出量は121,334.209トン、約30%の減少が記録された。

2024年4月最大の輸出先は日本であり、輸出量は248,138.510トン、外貨換算額は33,979,557 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約91%を占める）

2. 見通し

2024年7月は、乾季に入りFFBとCPOの生産量が増加し、PKSの発生量も増加すると推定される。また、供給量の増加に伴い価格は低下すると考えられる。

出所：各種情報を元にサントモにてデータを作成

